

# 平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 文書館  
 担当名: 古文書担当  
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B62	報道写真デジタル化事業			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育施設費	文書館費	
事業期間	平成23年度～平成25年度	根拠法令	公文書館法	戦略項目			分野施策	050101 文化芸術の振興	
<p>1 事業の概要</p> <p>埼玉新聞社から寄贈を受けた昭和22年～59年のネガフィルムは埼玉県の戦後を語る上で欠くことのできない貴重な写真記録となっているものの、フィルムの状態では劣化が進むおそれがある。</p> <p>そこで、貴重なネガフィルムの保全と公開に向けた活用を図ることを目的にデジタル化を行う。</p> <p>なお、デジタル化した報道写真は定期的に彩の国ビジュアルプラザの「映像公開ライブラリー」に提供し、県民の利用に供する。</p> <p>(1) 報道写真デジタル化事業 4,095千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 報道写真デジタル化事業 17,640千円</p> <p>(ア) 作業内容 ネガフィルムのスキャニング、画像データの整理及びプリント作成、製本</p> <p>(イ) 作業場所 埼玉県立文書館</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 報道写真ネガフィルムのデジタル化</p> <p>埼玉新聞社から寄贈を受けたネガフィルムは約533,000コマで、平成23年度までに未整理フィルムの整理保存とともに昭和49年11月までの約253,000コマのデジタル化が終了している。</p> <p>平成24年度はさらに昭和49年12月～55年までの約140,000コマのデジタル化を行った。</p> <p>平成25年度は引き続き昭和59年までの約140,000コマをデジタル化し、これで埼玉新聞社から寄贈を受けた報道写真のデジタル化が完了する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 生涯学習の場で一般県民の利用に供することができる。</p> <p>イ 歴史的資料としての価値も非常に高い貴重なネガフィルムを適切に保存することができる。</p> <p>ウ 緊急雇用創出基金を活用することにより、新たな雇用を生み出すことができる。</p> <p>平成23年度新規雇用者数19人 平成24年度新規雇用者数10人 平成25年度新規雇用予定者数10人</p> <p>エ 将来的には、データベース化することにより、検索が容易になる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>報道写真デジタル化事業: 委託料の入札差金発生に伴う減額。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.1人=950千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	4,095	繰入金						13,545	
現計額	17,640								